

『日本機械学会におけるいくつかの取組み』

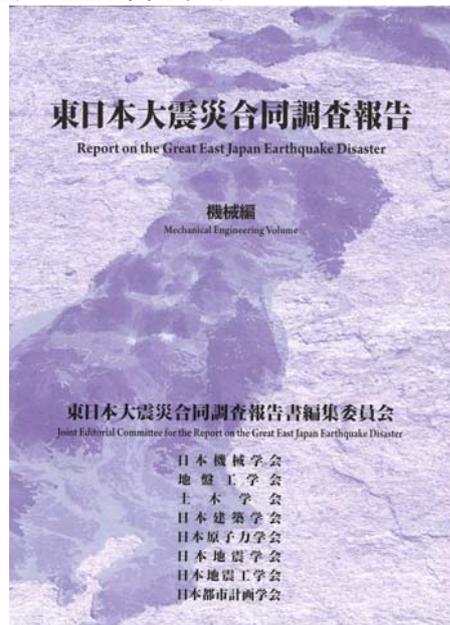
日本機械学会会長 久保司郎
(摂南大学理工学部教授, 大阪大学名誉教授)

- 東日本大震災合同調査報告 機械編
- 大震災に学ぶ工学のあり方に関する提言(和文、英文)
- 同 記者会見
- 市民フォーラム「東日本大震災調査・提言分科会報告」、
「東福島原発事故の教訓から学ぶ工学の原点と社会的使命」
- 連続講座「法と経済で読み解く技術のリスクと安全」～
社会はあなたの新技術を受け入れるか～
- 発電用設備規格

1

東日本大震災合同調査報告 機械編

◆ <http://www.jsme.or.jp/publish/book/s/books-details/5650.html>



「大震災に学ぶ工学のあり方に関する提言」

日本機械学会 2013年度(第91期)会長

矢部 彰

<http://www.jsme.or.jp/teigen/teigk02.html>

- 提言Ⅰ 大規模システムに弱点が生じないようにシステム全体の信頼性を向上させる方法論の確立が必要である
- 提言Ⅱ ものづくりにおける設計基準の考え方と「想定値」を超えた場合への対応を社会に対して説明する必要がある
- 提言Ⅲ 技術に対するリスクコミュニケーションを推進することが必要である
- 提言Ⅳ 被害低減を目指したものづくりに関する規格・基準の創造とそれを担う人材の育成が必要である

3

Proposals based on the perspective how the Engineering paradigm shall become for the ideal future, after learning from Great East Japan Earthquake

<http://www.jsme.or.jp/English/proposals/teigk02e.html>

- Proposal I: To avoid minor failures of large-scale systems, the methodology establishment for the reliability of totality
- Proposal II: Explain to the public about the design criteria for manufacturing and how to handle for the case of exceeding the "assumed values"
- Proposal III: Promote the communication of risk with regard to technologies
- Proposal IV: Through the lessons from the Great East Japan Earthquake, design manufacturing criteria and standards in order to reduce damage caused by disasters, and develop further capability for the people who shall be engaged in.

4

「大震災に学ぶ工学のあり方に関する提言」 記者会見

日本機械学会

<http://www.jsme.or.jp/teigen/teigk02.html>

➤ 日時 2014年2月12日(水) 11:00～12:00

➤ 場所 日本機械学会 会議室

➤ 発表者 日本機械学会 会長 矢部 彰

同席 筆頭副会長 久保司郎

5

市民フォーラム「東日本大震災調査・提言分科会報告」

日時:2013年9月10日(火)、会場:岡山大学

市民フォーラム「東福島原発事故の教訓から学ぶ工学 の原点と社会的使命 安全・安心社会構築に向けて」

日時 2013年9月9日(月) 10.00～12.00

会場 岡山大学創立五十周年記念館多目的ホール

- (1) 総括 背景説明と活動経緯／佐藤順一(IHI:2011年度 会長)
- (2) 第1章「技術が社会に受容されるための条件」／近藤惠嗣(福田・近藤法律事務所)
- (3) 第3章「科学技術革新に対する社会からの受容に必要な工学の役割」／白鳥正樹(横国大:2008年度 会長)
- (4) 第2章「技術と工学の進展と安全性確保のための社会システムの形成」、第4章「社会が“社会技術”を受容する際に市民が持つべき教養 ～工学リベラルアーツ教育のすすめ」、第5章「学会および大学・研究独法等の教育・研究組織の社会的役割」の概要と日本機械学会としての提言案／矢部彰(産総研:会長)
- (5) パネルディスカッション

6

日本機械学会連続講座 <http://www.jsme.or.jp/InnovationCenter/nedoproj-lt/>

「法と経済で読み解く技術のリスクと安全」 ～社会はあなたの新技術を受け入れるか～

- 倉田 健児 氏 「社会による新技術の受容と文理融合の必要性」
近藤 恵嗣 氏 「法律は技術の安全に寄与しているのか」
真野 敦史 氏 「ロボットに係る社会制度の現状と課題」
岸本 充生 氏 「技術安全のための経済学的思考:インセンティブとガバナンスの視点」
中西 準子 氏 「安全と自己決定」
田村 直義 氏 「安全とCSR」
土田 昭司 氏 「リスク・コミュニケーションと社会心理学」
桑原 勇進 氏 「規制権者としての国の責任」
▶ 2014年度(本日より開始)
近藤 恵嗣 氏 「強制力のある規格・基準と損害賠償責任」

日本機械学会(JSME)発電用設備規格委員会臨時拡大規格委員会 http://www.jsme.or.jp/InnovationCenter/nedoproj-lt

—新たな規格基準策定計画の提案(シビアアクシデント、外的事象、技術進歩の促進)—

開催日:2012年 1月 24日(火) 会場:日本機械学会

- ◆ASME Initiatives- ASME Japan Task & BNCS Task Forces “Design Basis & Responses to SA” Mr. Bryan Erler, Former ASME Vice President, Board on Nuclear Code & Standards & Incoming Vice President , Board on Conformity Assessment
- ◆外部事象起因のシビアアクシデント事故対応設計ガイドライン策定の進捗状況 副委員長 宮口 治衛(IHI)
- ◆シビアアクシデント対応の構造設計基準提案
- ◆新たな規格基準策定計画の提案 幹事 波木井順一(東京電力)
- ◆パネル モデレータ 委員長 森下正樹(JAEA)

8

シビアアクシデントに関する規格

規格に対する意見受付公告（2013年6月26日～2013年8月26日）

2014年4月

- 1. 規格名称「日本機械学会 発電用原子力設備規格 外部事象シビアアクシデント対策 設備設計ガイドライン (BWR編)」
- 2. 趣旨, 特色

本規格は、軽水型原子力発電設備のうち、BWR(沸騰水型軽水炉)を対象とした、外部事象シビアアクシデント時の設備設計ガイドラインを定めたものです。外部事象とは自然現象や人的要因による外部から原子力発電所の安全性に影響を及ぼす事象のことで、その様な事象が発生した際、BWRプラントがシビアアクシデント発生を防止できる様な、また万が一シビアアクシデントが発生したとしても、その影響を緩和できる様な設備設計ガイドラインを規定するものです。 9